



かわの忠正ニュース

発行所：公明党川崎市議団 発行人：かわの忠正 住所：幸区小向西町3-51 TEL 511-0687 印刷所：隼光明印刷 川崎市幸区塚越4-345-3

H28年第3回定例会 代表質疑・決算審査 特別委員会

かわの忠正議員は9月15日、議案「川崎市教育委員会委員の任命について」に対し、公明党を代表して質問に立ちました。決算審査特別委員会総務分科会では9月23日、28日に質問し、防災力の強化、市税収入確保策（クレジットカード納税の導入）、産業振興会館の市民サービス向上、選挙管理の向上などを取り上げました。

代表質疑 教育委員会委員人事案

人選過程の見える化を!

かわの忠正議員は、議案第136号「川崎市教育委員会委員の任命について」に対し、公明党を代表して質問に立ちました。（議案に対するの質問なので「代表質疑」と言います）

教育を取り巻く本市の現状は、中一殺人事件に象徴されるように課題が山積しており、教育委員会の役割も重要性を増しています。

今回、2名の任期満了に伴い人事案が提案されました。そこで、退任される方のうち出席率が問題視されたケースがあったので、新任者の人選について選任の経過と、任命され



(かわの忠正議員)

た場合、会議等への出席を考慮した選考のかなどを質問しました。

そして、市長に対し、今後ますます教育委員会の役割は重要性が高まるので、選考過程、推薦理由など、十分な情報を明らかにするよう求めました。

決算審査特別委員会総務分科会

平成27年度予算に対し、各局の執行状況を審査!

市税収入確保策!

クレジットカード納税の早期導入を!

かわの忠正議員が平成27年12月議会でクレジットカードによる納付制度の導入を提案し、財政局長から「納税者の利便性に繋がり、市税収入の確保に資すると考えられるので、導入に向けて検討する」と答弁したことについて、検討状況を質問しました。同局からは「可能な限り早期に導入できるよう、着実に準備を進める」と答弁しました。

「教育委員、会議出席する人を」

今度の委員は会議に出るの——？
10月に就任する川崎市の教育委員の人事をめぐり、市議会でもそんな指摘が相次いだ。今月で退任する俳優の川本賢委員は昨年、「ドラマで多忙」と会議の4割強を欠席。「同じ轍を踏まないように」と市議会が釘を刺した格好だ。

「出席率が問題視されたケースがあった」。15日の市議会本会議で、河野忠正市議（公明）が市側に指摘した。福田紀彦市長は中本氏の後任に、玉川大学の中村香教授を充てる人事案を提出。河野市議は「大事な教育委員会の会議に出席できるように、本人に話していただければ」と続けた。

山田益男市議（民主みらい）も「欠席が多い委員の存在が問題になった」と述べ、市長が再任案を出した日本女子大学教授の吉崎静夫委員についても「過去に複数回、所用で欠席した」と言及した。市長は「兩名は教育委員の責任の重大さを十分認識した上で就任いただくので、その職責を果たしてもらえと思う」と答弁。結局、市議会は2人の人事案を認めた。

市教委の規則では、委員には会議への出席の義務がある。一方で、出欠にかかわらず、月額27万9千円の報酬が支払われている。（河井健）

市議会、欠席問題ふまえ釘刺す

決算審査特別委員会総務分科会(続き)

『川崎まるごとWi-Fi化計画』*の進捗状況

市長が掲げた公約のうち、「市内1万か所の**アクセスポイントの整備**」、「ローミング料など通信事業者から**収益を上げる新しいモデル**」、「防災、交通、福祉など新しい生活関連の**新しいビジネス**が誕生する日本の成長モデル」について、進捗状況を調査し、市民にしっかり説明するよう求めました。

総務企画局から、「**アクセスポイント**は本年8月時点で市内1982か所を整備した。**収益を上げる新しいモデル**の構築は困難であると考えている。**新しいビジネス**が誕生する日本の成長モデルは、『かわさきアプリ(行政情報と民間の地域情報との相互連携などが出来る情報集積基盤)』を構築した。今後は民間と相互連携を図り実現に取り組む」と答弁しました。

*市民及び来訪者の利便性向上や安全・安心な暮らし、地域の活性化等につなげることを目的として、無料でインターネットに接続できる情報化の整備。

御幸公園にマンホールトイレ整備を!

御幸公園は、大規模災害などが発生した際、帰宅困難者を受け入れる広域避難場所に指定されています。避難者のトイレ対策として、マンホールトイレ(マンホールに直結するトイレ)の設置を求めました。危機管理室は「東日本大震災の教訓として、徒歩帰宅者により避難所のトイレ需要が増加する事を認識した。マンホールトイレはこれまで幹線道路沿いに15か所設置した。(御幸公園には)マンホールトイレの必要数も含め、関係局区と検討していく」と答弁しました。

被災者支援システムの有効活用を!

平成27年度に構築した「被災者支援システム(罹災証明等の発行状況や義援金などの給付状況などを一元的に管理できるシステム)」について、大規模災害時に速やかに効果を発揮するため、システムを運用する各区の職員への訓練・研修をすべきと対策を質しました。危機管理室は「事前に手順を確認し、慣れておくことで効率的に対応できるので、年度内の支援システム操作研修の実施に向けて、関係部局と調整する。次年度以降は毎年6月頃に行く」と答弁しました。

避難所運営マニュアルの全所配備、 避難所開設訓練の全市実施・配備場所の 明確化を!

かわの忠正議員が、洪水・土砂災害用避難所運営マニュアルの作成状況と、それを活用した避難所開設訓練状況を調査したところ、作成は約73%、避難所訓練の実施は毎年3割台という状況でした。市として未実施の地域を掌握し、実施を働きかける事やマニュアルの保管場所や運用の取組みを質しました。

危機管理室は「避難所開設に関する事項の確認や、未実施の地域へ実施できるよう支援をしていく」と答弁しました。

選挙開票作業の改善

昨今、「開票作業時間が遅い」「有効票と分類された票の中に本来無効とすべき票があり再点検に時間を要した」ことなどが発生しています。

開票作業の正確性、迅速性は民主主義を支える基盤となることから、改善計画の策定、徹底した階層別研修の実施などを訴えました。

選挙管理委員会は「職員の階層別研修の実施を検討。今年度内に改善計画を策定する」と答弁しました。

かわの忠正議員の 身近な実績フォト



見えづらい交通標識を改善

「進入禁止」標識が運転手から見えにくい向きのため、進入する車が多い交差点の標識を、幸警察署に依頼し改善しました。(幸町4-39付近)

『市民相談室』随時開設中♪
まずは、お電話下さい。

☎044-511-0687

市政懇談会もご希望に応じ随時開催!
公明党川崎市議団 **かわの忠正事務所**

ホームページ



facebook

